

トピックス

インフルエンザのお話

インフルエンザの流行は通常 11 月下旬から 12 月上旬に始まります。まだ少し時間がありますが、そろそろワクチン接種の準備など、予防策を立てる時期にきていますので、手始めにインフルエンザのおさらいをしてウォーミングアップをしたいと思います。

インフルエンザとは？

インフルエンザウイルスによる流行性呼吸器疾患です。流行の主流となるウイルスは、A/ソ連型ウイルス(H1N1 亜型) A/香港型ウイルス(H3N2 亜型) B 型ウイルスの 3 種類ですが、年により流行の程度とパターンが異なります。ちなみにこの流行パターンから WHO によって翌年のワクチン株が推薦されます。

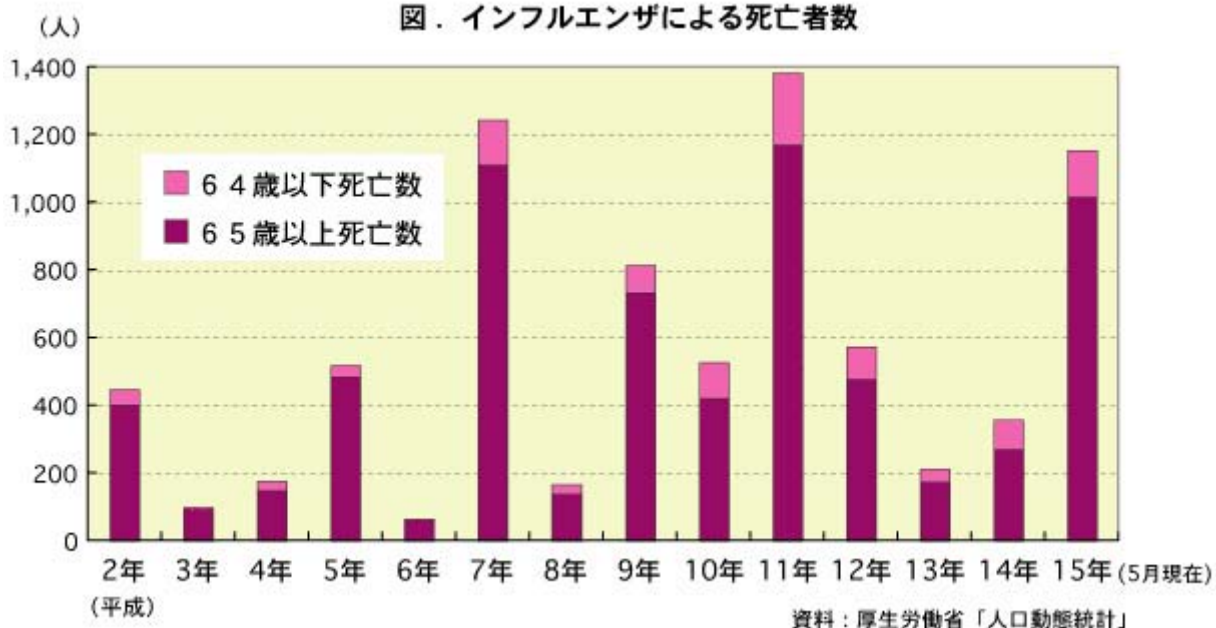
(2004-2005 年のワクチン情報

<http://www.who.int/csr/disease/influenza/vaccinerecommendations1/en/index1.html>)

症状は？

突然の発症、38 を超える発熱、上気道炎症状(のどの痛み、鼻水、鼻づまりなど) 倦怠感等の全身症状、頭痛、筋肉痛、消化器症状(子供に多い)などで、合併症としては肺炎、気管支炎、脱水、慢性疾患の悪化、小児では副鼻腔炎や中耳炎、熱性けいれん、脳症などが見受けられます。高齢者や乳幼児、慢性疾患(呼吸循環器や腎疾患、糖尿病、免疫不全など)を持つ人は重症化して死に至ることもあるので十分注意する必要があります。過去 5 年間では、年間 200~1,400 人のインフルエンザによる死亡数が報告されています(厚生労働省「人口動態統計」: 図参照)。

図. インフルエンザによる死亡者数



予防は？

ワクチン接種が最も有効な予防手段です。予防接種法施行令によるインフルエンザの定期的予防接種対象者は、(1)65歳以上の者および(2)60歳以上65歳未満であって、心臓、じん臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有するものとして厚生労働省令に定めるもの、と定められています。米国では予防的見地からさらに6ヶ月から24ヶ月未満の乳幼児や、インフルエンザ流行期間中に妊娠する可能性のある女性、50歳以上の人、ハイリスクグループに接する人などにも予防接種を呼びかけています。なお、ワクチンは接種後効果が現れるまでに約2週間かかり、約5ヶ月効果が続くとしていますので、12月上旬までに接種をすまされることをお勧めします。

鳥インフルエンザとは？

これまでの話は、ヒト型のインフルエンザについてですが、最近なにかと話題に上るのが鳥インフルエンザです。特に鶏などを死亡させる株は高病原性鳥インフルエンザとも呼ばれ、人への感染が報告されています。今年これまでのところ鳥インフルエンザ(A/H5N1)による42人の感染例がタイとベトナムで確認されており、そのうち30人が亡くなっています(WHO 9月28日 http://www.who.int/csr/disease/avian_influenza/country/cases_table_2004_09_28/en/)。こうした新型インフルエンザが人から人に感染するようになると、これに対して免疫を持っている人がいないために大流行となる恐れがあり、感染経路が大いに気になるところです。

さらに詳しい情報は以下のリンクをご参照ください。

(関連リンク)

愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

国立感染症研究所「インフルエンザ」 (<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/>)

今冬のインフルエンザ総合対策について(平成15年度)

(<http://www.mhlw.go.jp/houdou/0111/h1112-1.html>)

インフルエンザ予防接種ガイドライン (<http://www.mhlw.go.jp/topics/bcg/tp1107-1e.html>)

インフルエンザ情報サービス (<http://influenza.elan.ne.jp/index.php3>)

鳥インフルエンザに関する情報 (<http://www.mhlw.go.jp/houdou/0111/h1112-1f.html>)

CDC「インフルエンザ(flu)」 (<http://www.cdc.gov/flu/>)

WHO「インフルエンザ」 (<http://www.who.int/csr/disease/influenza/en/>)

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

感染性腸炎 サルモネラO7群 3歳男
【一宮市 あさのこどもクリニック】
病原性大腸菌O1 4歳女
病原性大腸菌O18 1歳男
病原性大腸菌O25 6歳男、33歳女
病原性大腸菌O125 21歳女
病原性大腸菌O166 1歳女
E Bウイルス感染症とアデノウイルス感染症患者が続いています。
【尾西市 城後小児科】
母と子のマイコプラズマ肺炎あり（同一家庭）
【一宮市 田中内科小児科医院】

手足口病の小流行がみられます。
【犬山市 武内医院】
流行性耳下腺炎の流行おさまってきました。
気管支喘息、喘息様気管支炎が増加してきています。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
手足口病が散見されます。
また、感染症ではないですが、気管支喘息が多い。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

尾張東部地区

病原大腸菌O15 10歳女
マイコプラズマ感染症みられます。
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
ヘルパンギーナまだ少しみられます。
溶連菌感染症、水痘、アデノウイルス感染症、流行性耳下腺炎等散発
感染性胃腸炎も少し目立ちました。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
6歳女、7歳男、63歳男 黄色ブドウ球菌
感染性腸炎（7歳男と6歳女は兄妹）
【豊明市 豊明団地診療所】
3歳のカンピロバクター腸炎
帯状疱疹の父親から感染したと思われる
1歳の水痘
【春日井市 朝宮こどもクリニック】

手足口病がありました。
【春日井市 かがわ北病院】
ムンプスがいつまでも続きます。
【春日井市 竹内医院】
カンピロ腸炎2人
【小牧市 小牧市民病院】
感染性胃腸炎が目立ちました（サルモネラ、カンピロ）
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

9歳男 カンピロバクター腸炎
4歳男 サルモネラ腸炎（O4）B群
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
8ヵ月男 サルモネラO9群
【岡崎市 花田こどもクリニック】
1歳男 病原性大腸菌O1 VT（-）
【岡崎市 にいのみ小児科】
ムンプス目立ちます。
【碧南市 永井小児クリニック】
1歳女、5歳女 サルモネラO9（姉妹例）
【刈谷市 まついこどもクリニック】

突発性発疹が増加
【西尾市 やすい小児科】
成人の急性胃腸炎が目立ちました。
【西尾市 山岸クリニック】
9ヵ月女 カンピロバクター
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

1 歳男、14 歳男 カンピロバクター
8 歳女、10 歳男 サルモネラ
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

8 歳 マイコプラズマ肺炎
【小坂井町 医療法人宝美会総合青山病院】
10 歳女 ムンプスの単発例(感染源は不明)
【田原市 かわせ小児科】

一 ～ 三類感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

腸管出血性大腸菌感染症

<関連リンク> 三類感染症ってなあに？

(http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/3rui_1.html)

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	瀬戸	44	女	9/14	9/14	9/22	O157 VT1(+) VT2(+)	
2	知多	1	男	9/6	9/16	9/21	O26 VT1(+)	
3	知多	2	男	9/13	9/16	9/21	O26 VT1(+)	

四類・五類(全数把握)感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

A型肝炎1例(推定感染地域:国内)

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#4-3>)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(71歳)

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-6>)

アメーバ赤痢1例(推定感染地域・経路:不明、40週報告分)

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-1>)

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

例年になく沢山の台風が上陸、秋雨前線の停滞もあって、水浸しの通学路や小児科外来の廊下で小学生達のカラフルな傘や雨靴が目立ちます。いつも貴重な情報を有難うございます。9 月前半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からは感染症は全般的に少ない状況。ムンプスが比較的多く、手足口病が散発、マイコプラズマ肺炎は一定数あるが無菌性髄膜炎は減少、第二日赤岩佐先生からはムンプスの再流行とアデノウイルス感染症の入院 2 名、無菌性髄膜炎の入院 1 名あり、千種区今枝先生からはムンプス 7 歳女児 1 名、マイコプラズマ肺炎の小学生 1 名と感染症は少ない、三菱病院入山先生からは感染性胃腸炎 3 名（病原性大腸菌 0 - 6、サルモネラ、黄色ブ菌）で 1 名入院、水痘 1 名、マイコプラズマを含む肺炎の入院 3 名と特に目立つ傾向なし、中京病院柴田先生からはムンプスが少しある程度、とのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは感染症は殆どなく感染性胃腸炎、手足口病が散見されるだけ、江南市昭和病院小児科からは入院で R S ウイルス感染症と百日咳(1 例) 喘息発作が目立った、常滑市民病院上田先生からは水痘、突発疹（要入院例あり）、感染性腸炎（入院例あり）、ウイルス性仮性クル - プの入院目立つ、市立半田病院中島先生からは外来ではムンプス少々と半日くらい嘔吐するような胃腸カゼが少々あり、入院では川崎病 3 人と集中、サルモネラ腸炎と菌が検出されないが臨床的には細菌性腸炎と思われるものが数例あり、とのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からは 9 月後半の情報までいただき、ムンプス流行がまだあり髄膜炎合併例チラホラ、ウイルス性胃腸炎が目立ち、C R P 陰性のウイルス性咽頭炎・扁桃腺炎の入院、C R P の高い熱性疾患の入院目立つ、加茂病院梶田先生からはムンプスとクル - プ（要入院が多い、パラインフルエンザ流行？）が目立ち高熱の出る風邪が少しずつ増加、急性虫垂炎が多い、刈谷市田和先生からは感染性胃腸炎が目立ち発熱、下痢のある小児でサルモネラが時々検出される、豊橋市からは感染症は少なく細菌性腸炎あり、とのお手紙でした。有難うございました。

2004 年 8 月 27 日 (79 巻 35 号)

E 型肝炎。チャド：WHO とチャド保健省の合同チ - ム発表によれば 04 年 6 月 26 日 - 8 月 13 日の間にチャド・ゴズアメル地区のス - ダン人難民キャンプに急性黄疸患者が 672 例発生、死亡 21。パリのバル・デグラ - ス研究所の検査で 7 例が E 型肝炎ウイルス抗体陽性。E 型肝炎の発生はス - ダン・ダルフル地方の国内難民キャンプでも認められておりチャドとス - ダン両国国境地区の難民キャンプの清潔な水供給不足と衛生状態悪化による発生と思われる。E 型肝炎は下記のように汚染された水による経口感染症で難民、国内難民で人口密集した不潔なキャンプ生活が高リスクであり WHO、国連難民高等弁務官、地域駐在の NGO が保健省と協同で水の塩素消毒、排泄物の処理、住民教育などの対策実施と発生状況を調査中。WHO は対策強化のため専門家派遣を計画中。

E 型肝炎の概略 (WHO, 04 年改訂)：RNA ウイルス。霊長類などにも抗体陽性動物がいるが感染の主体はヒト。経口感染。衛生状態不良の地区。地理的分布は東南アジア、中央アジア、北部と西部アフリカ、メキシコで発生。糞便による飲料水の汚染が多い地区。抗体保有調査では陽性者は世界的に分布、無症状感染の多さを示唆。通常は急性感染症で慢性化しない。罹患死亡率は 1 - 4% であるが妊婦 (妊娠後期) が罹患すると劇症肝炎となり罹患死亡率は 20% に及ぶ。臨床像：潜伏期 3 - 8 週。感染源となる期間不明。初発症状は黄疸、全身倦怠、食欲不振、腹痛など急性肝炎と共通。好発年齢は 15 - 40 歳、小児は軽症化。診断：抗体測定と PCR によるウイルス核酸検出。ワクチン：未開発。予防と治療：一般的なもののだけ。以上の詳細は

<http://www.who.int/emc-documents/hepatitis/docs/whocdscsredc200112.html/index.html>

ポリオ根絶。エジプト：04 年、3 回のポリオ生ワクチン全国一斉接種デ - 実施、さらにポリオ患者発生地区で徹底的接種を 1 回実施。サ - ベイランスは全国的に施行、急性弛緩性麻痺 (AFP) 患者数は 03 年に 608 例 (93% がウイルス検査実施、野生ポリオウイルス陽性者 1 例)、04 年 454 例 (ウイルス検査 96%、野生株陽性 1 例)。共に 1 型ウイルス。下水からは 03 年 12 検体、04 年 3 検体ポリオウイルス陽性 (地図あり)。

皮膚粘膜リ - シュマニア症 (注：原虫感染症。ヒト、犬、げっ歯類など各種哺乳動物が媒介昆虫のサシチョウバエ (Sand fly) で感染、パキスタンはじめ中近東、地中海地区、中南米に分布、皮膚や口腔粘膜などに慢性潰瘍形成、後遺症として瘢痕、変形)。アフガニスタン：WHO が関連各機関の協力で殺虫剤一斉散布など強力な予防作戦展開予定。

8 月 20 - 26 日届出。コレラ：ベニン、カメル - ン、チャド、ギニア、ウガンダ、タンザニア、コロンビア。

2004年9月3日(79巻36号)

E型肝炎。チャドの最新情報：6月26日 - 8月20日で959例(死亡30)報告。WHOは疫学調査、輸送と設営の専門家、フランス政府は水供給と衛生工学、米合衆国はCDCから疫学専門家派遣、調査と対策立案を実施予定。

E型肝炎。ス・ダン：5月22日 - 8月20日で2,431例(死亡41)がダルフル地区の保健クリニックから報告。ユニセフは同国保健省と協力、NGOの参加を得て安全な水供給(質、量共に)の作業をすすめている。

感染症サ・ベイランス調査と報告システムのモニタリングと評価に関するWHOの作業フレームワークの概略：WHOを中心とした感染症サ・ベイランスの調査方法の質的な問題、報告に関与する要因、継続的な監視、評価に関する総説

HIVワクチン。HIVワクチンの臨床試験に関して女性と思春期青年の参加が重要であり、WHOと国連HIV/AIDS計画(UNAIDS)の最初の合同会議が04年8月26 - 28日、スイス・ロ・ザンヌで40名の全世界の専門家が参加して開催された。ワクチン関連の研究と臨床接種試験に関連して問題となるのは、女性：男性パートナーに比し感染しやすく、サハラ砂漠南縁諸国では少女と青年女性は男性交渉者の6倍の感染率であり、開発途上国の15 - 24歳の女性のHIV/AIDS陽性率は62%にも及んでいる。青年：開発途上国の新規感染者の半数は青年層である。知識不足、認識の欠如など多くの理由でこれら最も重要な女性や青年層が接種試験に参加していない。

現在までに(特に最近4年間)30以上の試作ワクチンが開発されており、WHOとしては年齢、性別、人種、社会的背景を問わず臨床的調査を進めること、特に女性と青年のより多数の参加を勧告している。

8月27 - 9月2日届出。コレラ：チャド、マリ、シエラレオネ、フィリピン。ペスト：米合衆国。

愛知県感染症情報

2004年第1週～第39週(平成15年12月29日～平成16年9月26日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎*	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	205	37,701	2,742	7,514	30,001	9,746	1,588	2,539	4,920	111	124	7,037	53	7,664	27	1,262	12	23	213	0	0
愛知県 総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	180	29,465	2,092	5,168	20,604	7,885	1,260	1,974	3,894	98	60	5,443	53	6,160	18	1,023	12	23	211	0	0
名古屋	70	70	11	14	1	25	8,236	650	2,346	9,397	1,861	328	565	1,026	13	64	1,594		1,504	9	239			2		
尾張東部	9	9	2	3	1	28	1,855	171	659	1,258	509	44	195	251	10	5	477	7	304	4	23			37		
海部津島	7	7	2	2	1		2,036	104	197	2,088	526	33	69	139	5		196		326		71		6	48		
尾張中部	4	4	1	1			1,006	25	84	849	192	13	102	60			175		98		37					
尾張西部	16	12	3	4	1	10	2,133	235	474	2,275	640	315	93	382	3	2	305	3	453		33	1		1		
尾張北部	9	9	2	3	1	18	2,832	270	614	1,347	830	67	245	370	10	6	439	3	699		43	3	14	1		
	6	6	1	2			1,109	90	575	1,786	685	30	105	323	3	3	341	2	353		51					
知多半島	6	6	1	2	1	6	1,060	106	287	703	369	18	125	188	4	1	160	3	389	2	7			4		
	7	7	2	2		27	1,701	312	221	1,767	668	79	238	287		1	304		615	2	12					
西三河南部	11	7	2	2	1	5	1,945	50	436	503	753	129	137	432	6	5	456	4	454	2	51					
	11	11	2	4	1	1	3,208	155	434	1,148	648	240	137	372	5	4	430	5	980		79			14		
	5	5	1	2	1	2	864	33	181	728	257	65	124	172			198	7	408		44					
西三河北部	8	8	2	3	1	59	2,967	134	295	2,431	632	92	156	283	47	32	522	8	638		454		1	38		
	3	3		1		2	414	38	76	429	133	24	50	53			65		63							
東三河南部	12	8	2	4	1	3	4,205	91	407	2,094	464	65	60	335	4		682	10	166	2	73	7		40		
	9	8	1	2	1	19	1,967	269	224	1,175	538	37	134	226	1	1	684	1	184	6	45	1	2	28		
東三河北部	2	2			1		163	9	4	23	41	9	4	21			9		30							

* 衣浦東部保健所から33～35週分(6件)の追加報告あり

愛知県感染症情報

2004年第1週～第39週(平成15年12月29日～平成16年9月26日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎*	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
計	180	29,465	2,092	5,168	20,604	7,885	1,260	1,974	3,894	98	60	5,443	53	6,160	18	1,023	12	23	211	0	0
～6ヶ月	66	277	6	15	272	214	26	8	304	26		39		2		11					
～12ヶ月	55	616	55	24	1,282	510	71	37	2,245	13	5	365	10	39		13					
0歳																	5	3	1		
1歳	32	2,092	303	132	2,960	1,466	269	104	1,229	3	9	1,485	14	315		51			16		
2歳	8	1,947	322	238	2,195	1,299	225	134	92	2	5	1,101	6	536		38			11		
3歳	7	2,114	391	566	2,099	1,518	191	213	12	4	2	1,002	2	965	1	51		1	28		
4歳	4	2,528	346	1,011	1,933	1,355	183	292	4	1	5	715	6	1,270	1	50		1	22		
5歳	6	1,739	271	1,019	1,611	746	126	381		2	1	368	2	1,184	1	51					
6歳	2	1,342	112	706	1,098	339	55	279	1	6		167	2	596		27					
7歳		1,110	89	461	901	159	40	184	2	1	2	88	2	384		18					
8歳		966	50	272	677	88	17	129	1	2		34	1	275		10					
9歳		1,056	42	188	612	45	14	85	1	1	1	27	1	186		6					
5歳～9歳																		3	60		
10歳～14歳		4,275	52	284	1,364	77	20	85	2	1	2	34	3	243		27		4	40		
15歳～19歳		1,952	4	30	471	11	2	3			2	4	2	27		13			3		
20歳～			49	222	3,129	58	21	40	1	36	26	14	2	138			7				
20歳～29歳		2,465													2	131		4	2		
30歳～39歳		2,408													5	247		5	12		
40歳～49歳		1,051													2	68			4		
50歳～59歳		626													3	75		1	3		
60歳～69歳		455													2	81			5		
70歳～															1	55					
70歳～79歳		265																	1		
80歳以上		181																1	3		

* 衣浦東部保健所から33～35週分(6件)の追加報告あり